

JOANR/JSSR-DBとJSIS-DB連携登録の手順

JOANR 新規症例登録

A

新規症例登録

① データ提供レジストリーで「**脊椎**」を選択

施設* RW現医長主導施設25_79

手術日* -- 年 -- 月 -- 日 本日の日付を選択

データ提供レジストリー 注記 日整会 一般的な整形外科手術 人工関節手術 他の関連学会 **脊椎**

患者姓名 (カタカナ)* 姓 ヤマダ 名 タロウ

インフォームドコンセントの取得方法* 文書同意 口頭同意 + 記録 オプトアウト

② 項目を埋め、確認

確認

B

症例一覧

③ レジストリー列

脊椎 をクリック

レジストリー 全て 症例識別子 登録IDまたは加工IDを入力

ステータス 未入力 入力中 承認待ち 承認済み 術後の転帰 30日以上経過

該当件数: 6件

手術日	症例識別子	手術時年齢	性別	登録日時	レジストリー	調査票
2021年11月08日(月)	加工ID: 2 登録ID: 000000000079.6	7歳	女性	2021年12月11日(土) 20時28分	脊椎	
2021年10月24日(日)	加工ID: 1236 登録ID: 000000000079.5	14歳	女性	2021年10月24日(日) 19時04分	脊椎	

JSIS-DBへの症例登録は、JOANRへの新規症例登録から始まります。

A: JOANR新規症例登録の際、①データ提供レジストリーの項目で、**脊椎**を選択します。入力を受け、②下端の**確認**をクリック。

B: 症例一覧に移動します。レジストリー列に**脊椎**と現れます。③その**主調査票の追加**をクリック

C

④ 主調査票 (JSSR-DB/JSIS-DB連携) の
作成 をクリック

目 主調査 (JSSR-DB/JSIS-DB連携)

調査票の追加

作成

C: 脊椎DB一覧にて、
主調査票(JSSR-DB/JSIS-DB連携) の
作成 をクリックします。

JOANR 新規症例登録

D

JOANR 編集 加工ID 登録ID 手術日 年齢 性別 男性

データ提供レジストリー JSSR-DB 調査票種別 JSSR-DB 施設 RW予備施設21_268

基本項目

基本項目

入院手術/外来手術* 入院手術 外来手術

主たる術式1

術式*

主たる術式*

術名選択 M4316: 嚢嚢変性すべり症

病名*

術後の転帰*

転帰

手術時間*

麻酔時間*

術者*

助手*

看護師数*

技師数*

術後の転帰*

JSSR-DB

術式小分類・術名

手術の種類*

術式追加・追加*

術式小分類*

手術部位

UIV*

LIV*

病名*

術切り替用*

嚢嚢形成術併用*

合併症

術中合併症

有無*

合併症*

硬膜損傷

術後合併症 (術後30日以内に発生した合併症)

有無*

合併症 (大分類)*

Surgical Site Infection

全身合併症 (術中・術後30日以内に発生した合併症)

有無*

一時保存 入力完了 JSIS連携

⑤ 基本項目/JSSR-DBを入力し、
(1) 一時保存 続いて
(2) JSIS連携をクリック



術後の転帰はJSIS-DBには登録されません。
* は未入力のまま連携へ進めます。
転帰以外の項目は入力を済ませて下さい

D: 基本項目/JSSR-DBの入力を終わると、
末尾に **JSIS連携** が現れます。

⑤ 一時保存をしてから、
JSIS連携 をクリックして下さい。

JOANRとJSIS-DB連携の確認

【整形外科共通データベース】アカウントをご入力ください
アカウント詳細につきましては下記（枠内）をご確認ください

JSIS-DBへの連携

JSIS-DB登録に移行しますがよろしいですか？
なお、JOANRで入力された基本項目はJSIS-DBでも既入力となっていることをご確認ください。

キャンセル OK

JSIS-DBへの連携を確認し
「OK」をクリックしてください

**JOANRと連携する新システムを利用するには、
研究計画書第8版に準拠した参加登録が必要です。
第7版以前の計画書で施設承認を受け、旧JSIS-DBへ参加
して下さった施設におかれましても、
第8版についての研究参加承認を得ていただくようお願い
いたします。**

ログイン

https://jodb.medicalstream.net

ユーザー名

パスワード

ログイン キャンセル

※ブラウザのパスワード保存機能を使用している場合は
この入力画面が表示されるのは最初の一度だけです

JOANR-DBから「JSIS連携」の機能を利用するには、JSIS-DBのアカウントが必要です。
(JSIS-DBのアカウントIDは d123456 のような形式のものです)

すでにJSIS-DBに参加されているご施設の場合

→データベース登録用のアカウントをご使用ください。
未取得の方は、先にe-learningを受講する必要があります（e-learning修了後にアカウントが発行されます）。
e-learning受講方法については、各施設の研究責任者にご確認ください。

まだJSIS-DBに参加されていないご施設の場合

→貴施設の倫理委員会でデータベース参加の承認を得た後、JSIS-DBの事務局に書類をご提出戴く必要があります。
詳しい手順につきましては、[JSIS-DBのホームページ（研究責任者の皆様向けページ）](#)をご覧ください。

貴施設がJSIS-DBに参加されているかどうかは、[JSIS-DBのホームページ（共同研究機関リスト）](#)で確認できます。

[JOANRに戻る](#)

JSIS-DBへの登録確認

JOANR/JSSRに記入されたデータをJSIS-DBに登録します。選択条件・非選択条件を必ずご確認ください。

- 選択基準
- 選択基準1～3または4をすべて満たしていることを確認してください。
- 1) 脊椎インストゥルメンテーション学会員が所属する施設で施行された脊椎インストゥルメンテーション手術患者
 - 2) 入院手術患者
 - 3) 脊椎手術でインプラントを用い椎間をまたいで固定、あるいは制動を行う手術、もしくは脊椎骨接合術（歯突起骨折・分離部修復など）
 - 4) あるいは、1)～3)に対し、当該椎間あるいは隣接椎間へ行われる再手術・追加手術

- 非選択基準
- 非選択基準1～4に全く該当しないことを確認してください。
- 1) 組織生検
 - 2) 椎体形成術（VP、BKPなど）を単独で行う場合
 - 3) 頸椎椎弓形成術を単独で行う場合
 - 4) 仙椎骨折、尾骨骨折、骨盤骨折を伴う場合

手術日
登録ID
加工ID
患者性別
患者年齢
患者ハッシュ値



主たる術式 1

○ K1423 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）（後方椎体固定）
※Kコードの前の記号は ○=登録可、△=再手術の場合のみ登録可、×=登録不可です。
※この症例はJSIS-DBに登録可能です。

【重要】
JSIS-DBは基本的にインプラントありの症例のみ登録可能ですが、再手術の場合に限り、主たる術式が下記のもの（インプラントなし）も登録可能です。

K128	異物除去
K116	脊椎骨盤骨揺爬
K131-2	内視鏡下椎弓切除
K134	椎間板摘出術
K134-2	内視鏡下椎間板摘出術
K142.5	椎弓切除
K142.6	椎弓形成
K142-5	内視鏡下椎弓形成術

登録

登録せずJOANRに戻る

選択・非選択基準およびJOANRに入力した情報（赤枠）をご確認の上、**登録**をクリックしてください

症例情報（JOANR/JSSRに記入した情報）をJSIS-DBに登録しました。
引き続き、手術ボタンを押して、JSIS-DB固有の情報を記入してください。

手術

[記入せずJOANRに戻る](#) [JSIS-DB症例一覧へ](#)

※今すぐ記入しなかった場合でも、後からJSIS-DBの症例一覧からJSIS-DB固有の情報（手術情報）を記入することができます。

手術をクリックし
固有情報の登録へ

JSIS-DB固有情報の登録

JSIS-DB固有情報を画面に従って
ご入力ください

必要事項をご記入・ご選択の上、送信してください。

基本情報

手術日 (登録済)
手術時年齢 (登録済)
性別 (登録済)
登録ID (登録済)
加工ID (登録済)
患者情報ハッシュ値 (登録済)

患者情報

身長 [?] (cm、小数1ケタまで入力可能)
体重 [?] (kg、小数1ケタまで入力可能)
ASA [?] 1 2 3 4 5 6
併存疾患 パーキンソン病 なし あり
術前神経障害 なし 脊髄 馬尾・神経根
術前膀胱直腸障害 なし あり (尿閉なし) あり (尿閉あり・尿閉疑い)

手術

術式

JSIS-DBには、同時に実施された手術情報を2件まで、詳しく登録できます。

主たる術式を2つまで選んでください。
手術を1箇所しか実施していない場合など、手術2に該当するものがない場合は、「手術2は登録しない」を選択してください。
※選択基準、非選択基準もご確認ください。

【主たる術式】

手術1 手術2 *ラジオボタンは縦方向で択一式になっています。
1 1
 K1423 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (多椎間又は多椎弓の場合を含む。) (後方椎体固定)
 手術2は登録しない

上記で選択した「主たる術式」に関連する「従たる術式」が存在する場合は選択可能ですが、この症例には「従たる術式」は登録されていません。
(従たる術式が存在する場合は、JOANRに戻ってデータを修正してください)

※選択基準※ (1~3または4をすべて満たす必要があります)
1)脊椎インストゥルメンテーション学会員が所属する施設で施行された脊椎インストゥルメンテーション手術患者
2)入院手術患者
3)脊椎手術でインプラントを用い椎間をまたいで固定、あるいは制動を行う手術、もしくは脊椎骨接合術 (椎突起骨折・分離部修復など)
4)あるいは、1)~3)に対し、当該椎間あるいは隣接椎間へ行われる再手術・追加手術

※非選択基準※ (1~4に全く該当しないものに限りです)
1)組織生検
2)椎体形成術 (VP、BKPなど) を単独で行う場合
3)単椎椎弓形成術を単独で行う場合
4)仙椎骨折、尾椎骨折、骨盤骨折を伴う場合

手術共通情報

手術時間 (登録済) 130 分
麻酔時間 (登録済) 150 分
出血量 [?] g *ごく少量は1gと記入してください
待機/緊急 [?] 待機手術 緊急手術

合併症

術中合併症 (登録済) 硬膜損傷
術後合併症 (登録済) Surgical Site Infection (術後30日以内)
全身合併症 (登録済) なし (術後30日以内)

術者情報

執刀医 総験区分 (登録済)
助手1 総験区分 (登録済)
助手2 総験区分 (登録済)
助手3 総験区分 (登録済)
看護助数 (登録済) 2
技師数 (登録済) 2

転帰

退院日 西暦 年 月 日 *西暦は2桁で入力できます。例)2020年→20と記入
(確認画面に進むと手術日と退院日から自動計算されます)

[← 戻る](#)

[登録](#)